

別紙

I. 事業評価総括表（令和 元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（湯村連合自治会AED整備、防犯灯新設整備、バス待合所整備）事業	雲南市	2,025,000	2,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成31年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（湯村連合自治会AED整備、防犯灯新設整備、バス待合所整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		島根県雲南市木次町湯村地内
交付金事業の概要		<p>雲南市木次町における電源立地対策交付金対象地域である西日登地区（引野自治会、大島自治会）、湯村地区（湯村連合自治会）、平田地区（石自治会、門自治会、野谷自治会）のうち、今年度は湯村連合自治会において自治会補助金交付事業を行うこととしています。</p> <p>湯村連合自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数181名（65世帯）・高齢化率46.48%（平成31年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>【AED整備事業】</p> <p>当地区（当自治会）にある和の郷会館（地区集会所）は、災害発生時においては地区住民が避難する一時避難所となっています。また、当地区において毎年開催される駅伝大会等のイベント会場にもなっており、各種イベントには地域内外から多数の参加者が集まります。近年多発する豪雨災害等の災害発生時における被災者や各種イベント参加者の救命措置が必要となった際、当地区は最寄りの消防署から約30分程度かかる距離の中山間地域に位置しており、一刻を争う救命のためにはAEDの設置は必須であります。</p> <p>AEDを整備することにより、災害被災者やイベント参加者の救命措置ができ、地域の防災意識高揚に繋がります。このような地域づくりの活性化に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付します。具体的な事業内容は、AEDを1台整備します。</p> <p>【防犯街路灯新設整備事業】</p> <p>周囲を山に囲まれている当自治会は、生活道路も山陰となっており、夕方の早い時間帯から暗い場所となっています。平成29年度に本交付金事業を自治会補助金事業として、当地区（当自治会）において34基の既設防犯街路灯をLED化し、自治会管理の防犯街路灯42基が全てLED化され、当地区の地域づくりに大きな効果があったところです。しかし、既存の防犯街路灯だけでは暗い箇所がまだ数多くあり、子どもの通学路や高齢者も通行する生活道路として十分な明るさで照らすことができている状況となっています。また特に夜間は、暗く危険な場所が多くあり、防犯街路灯の新設整備が必要です。防犯街路灯が増えることにより、自転車や歩行者の転倒等の交通事故を予防することができ、当地区の生活道路が安心して歩くことができるようになることは地域づくりの活性化につながります。</p> <p>当地区のほか、平成30年度に本交付金事業（自治会補助金事業）により平田地区（野谷自治会）で10基、平成29年度に平田地区（石自治会）で8基、平成28年度に西日登地区（引野自治会）で10基の防犯街路灯のLED化を実施されましたが、道幅が狭く、日中の人通りが少ない子どもの通学路にもなっている生活道路を明るく照らせるようになったことは実施自治会の発展に大きく貢献しました。このような地域づくりの活性化に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付します。具体的な事業内容は、LED防犯街路灯を10基新設（うち2基は新設柱への取付）整備を実施します。</p> <p>【バス待合所整備事業】</p> <p>当地区の中心部に設置されている「温泉神社前」バス停は、市民バスのほか、スクールバスの停留所になっています。子どもから高齢者まで、毎日多数の地域住民が利用されていますが、待合所がなく、利用者がバスを待つ間風雨にさらされる状況となっています。冬季においては降雪量・積雪量も多い地域であり、バスを利用する子どもや高齢者が風雨をしのぐことのできる待合所の整備が必要です。</p> <p>バス停に待合所を整備することにより子どもや高齢者が風雨にさらされることなくバスを利用できることは、利便性の向上に大きく貢献します。また当バス停は、地域の主要な生活道路で地区内においては比較的交通量の多い場所にあり、現在、利用者は歩道もない道路の路肩でバスを待たなければならない状況ですが、このような状況も解消され、交通事故防止にも繋がります。このような地域づくりの活性化に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付します。具体的な事業内容は、バス待合所を1基整備します。</p>

交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		成果指標：【第2次雲南市総合計画（前期基本計画 平成27年度～平成31年度）】 政策Ⅱ 安心安全で快適なまち 18 交通安全の推進 交通安全意識の高揚、交通安全施設の整備 成果目標：運転したり、歩いたりしていて危ない（ヒヤっ）と感じた市民の割合 現状：70.7%（平成29年度実績） 目標：65.0%（平成31年度）					
事業開始年度		令和 元年度		事業終了（予定）年度		令和 元年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 2 年度	
		運転したり、歩いたりしていて危ない（ヒヤっ）と感じた市民の割合 65.0%	市民アンケートにおいて「運転したり、歩いたりしていて危ない（ヒヤっ）と感じた市民」項目にある、多少あると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	64.9	
				目標値	%	65.0	
				達成度	%	99.8	
		評価年度の設定理由					
		第2次雲南市総合計画（前期）の終期でもある事業実施翌年度に評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		-					
		評価に係る第三者機関等の活用の有無					
		なし					
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和 元年度		
		AED、LED防犯灯、バス待合所の整備	活動実績	基	AED：1台 防犯灯：10基 待合所：1基		
			活動見込	基	AED：1台 防犯灯：10基 待合所：1基		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和 元年度			備考		
総事業費		2,025,000					
交付金充当額		2,000,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		2,000,000					
交付金事業の契約の概要							
		契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額	
		補助金交付	補助	湯村連合自治会（雲南市）		2,025,000	
		計				2,025,000	
交付金事業の担当課室		雲南市木次総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市木次総合センター自治振興課					